

1. インストラクター検定

資格種別	種 目	斜 面	実技の内容	評価の基準	受検資格	受検料	公認料	年次登録料	
インストラクター	実践種目				<ul style="list-style-type: none"> ・検定員は本連盟普及員又はデモンストレーター1名とインストラクター2名の合計3名 ・検定員は2年以内に連盟主催の研修会出席者 ・1種目最大100ポイント×8種目 ・取得ポイントは3名の平均で小数点第1位を四捨五入 ・640ポイント以上が合格（80%以上） ・繰り上げ合格は3ポイント以内で認める ・繰り上げ合格は指導種目の2種目以上が合格に満たない場合は認めない ・理論適正は70%以上の適合により合格とする ・合否判定は実技と理論の双方の合格により判定 	<ul style="list-style-type: none"> ・受検時に21歳以上であること ・JGSF会員であること ・アシスタントインストラクター取得者 ・アシスタントインストラクター取得の次年度以降である ・本連盟より特別に推薦を受けたもの ・1.5時間以上の事前講習の修了者 	5,000	5,000	5,000
	パラレルターン ロング	緩～中斜面	状況に対応したスピーディーなロングターン						
	パラレルターン ショート	緩～中斜面	状況に対応したリズミカルなショートターン						
	総合滑降	総合斜面	状況に対応したリズム変化を伴う総合ターン						
	ゲート滑走（8～10ゲート）	緩～中斜面	ゲートの設定に配慮したスムーズなミドルターン						
	指導種目								
	ワイドスタンダード	緩～中斜面	伸ばし荷重を活用した完成度の高いターン						
	クローズ＆ワイドスタンダード	緩～中斜面	伸ばし荷重を活用しターン弧を確実にコントロールしたターン						
	シュテムターンからパラレルターンへの展開	緩～中斜面	徐々に内スキー操作を早めてパラレルターンへ展開する						
	スケーティングターン	緩～中斜面	内脚への重心移動とリズミカルなステップを活用したターン						
	理論適正								
	設問10題の記述式による解答		グラスキーの特長・その他指導に必要な知識から出題						
アシスタント インストラクター	実践種目			<ul style="list-style-type: none"> ・検定員は本連盟普及員又はデモンストレーター1名とアシスタント又はインストラクター1名の合計2名 ・検定員は2年以内に連盟主催の研修会出席者 ・1種目最大100ポイント×8種目 ・取得ポイントは2名の平均で小数点第1位を四捨五入 ・実践種目280ポイント以上が合格（70%以上） ・指導種目300ポイント以上が合格（75%以上） ・繰り上げ合格は3ポイント以内で認める ・繰り上げ合格は指導種目の2種目以上が合格に満たない場合は認めない ・理論適正は70%以上の適合により合格とする ・合否判定は実技と理論の双方の合格により判定 	<ul style="list-style-type: none"> ・受検年度に18歳以上であること ・JGSF会員であること ・級別テスト1級取得者 ・本連盟より特別に推薦を受けたもの ・1.5時間以上の事前講習の修了者 	5,000	3,000	4,000	
	パラレルターン ロング	緩～中斜面	状況に対応したスピーディーなロングターン						
	パラレルターン ショート	緩～中斜面	状況に対応したリズミカルなショートターン						
	総合滑降	総合斜面	状況に対応したリズム変化を伴う総合ターン						
	ゲート滑走（8～10ゲート）	緩～中斜面	ゲートの設定に配慮したスムーズなミドルターン						
	指導種目								
	ワイドスタンダード	緩斜面	伸ばし荷重を活用した完成度の高いターン						
	クローズ＆ワイドスタンダード	緩斜面	伸ばし荷重を活用しターン弧を確実にコントロールしたターン						
	シュテムターン	緩～中斜面	外スキーの正確な開きだしとターン後半内スキーの引き寄せによるターン						
	スケーティングターン山回り 左右	緩斜面	内脚への重心移動を伴うステップ動作によるターン						
	理論適正								
	設問10題の記述式による解答		グラスキーの特長・その他指導に必要な知識から出題						

2. ハイレベル検定

テスト種類	種 目	斜 面	実技の内容	評価の基準	受検資格	受検料	公認料	年次登録料
GSスプリーム	パラレルターン ロング	緩中～急斜面	状況に対応した正確でハイスピードなロングターン	<ul style="list-style-type: none"> ・1種目最大100ポイント×4種目 ・取得ポイントは3名の平均 小数点第1位を四捨五入 ・360ポイント以上が合格（90%） 	<ul style="list-style-type: none"> ・GSエキスパート取得者 ・年齢制限は設けない 	4,000	3,000	JGSF会員であること
	パラレルターン ショート	緩中～急斜面	状況に対応した正確でハイスピードなショートターン					
	パラレルターン ショート（リズム変化）	緩中～急斜面	状況に対応したリズム変化（3回以上）を伴うショートターン					
GSエキスパート	総合滑降	総合斜面	状況に対応したハイスピードでリズム変化を伴う総合ターン	<ul style="list-style-type: none"> ・1種目最大100ポイント×4種目 ・取得ポイントは2名の平均 小数点第1位を四捨五入 ・340ポイント以上が合格（85%） 	<ul style="list-style-type: none"> ・1級取得者 ・年齢制限は設けない 	3,500	2,500	JGSF会員であること
	パラレルターン ロング	緩中～急斜面	状況に対応したハイスピードなロングターン					
	パラレルターン ショート	緩中～急斜面	状況に対応したハイスピードなショートターン					
	パラレルターン ショート（リズム変化）	緩中～急斜面	状況に対応したリズム変化（2回以上）を伴うショートターン					
	総合滑降	総合斜面	状況に対応したハイスピードでリズム変化を伴う総合ターン					

※検定員について、1名は本連盟普及員（デモ経験者等）又はデモンストレーター1名以上とインストラクター又はアシスタントインストラクター合計3名で構成する

3. 級別テスト

テスト種類	種 目	斜 面	実技の内容	評価の基準	受検資格	受検料	公認料	年次登録料
1級	パラレルターン ロング	緩～中斜面	状況に対応したスピーディーなロングターン	<ul style="list-style-type: none"> ・検定員2名（1名はアシスタント可）による判定テスト ・1種目最大100ポイント×4種目 ・取得ポイントは2名の平均 小数点第1位を四捨五入 ・280ポイント以上が合格（70%） 	<ul style="list-style-type: none"> ・2級取得者 ・年齢制限は設けない 	3,000	2,000	JGSF会員であること
	パラレルターン ショート	緩～中斜面	状況に対応したリズミカルなショートターン					
	シュテムターン	緩～中斜面	外スキーの正確な開きだしとターン後半内スキーの引き寄せによるターン					
	総合滑降	総合斜面	状況に対応したリズム変化を伴う総合ターン					
2級	パラレルターン ロング	緩～中斜面	状況に対応した安定感のあるロングターン	<ul style="list-style-type: none"> ・検定方法は1級に準ずる ・1種目最大100ポイント×4種目 ・260ポイント以上が合格（65%） 	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢制限は設けない 	2,000	1,500	
	パラレルターン ミドル	緩～中斜面	状況に対応したコントロールされたミドルターン					
	クローズ＆ワイドスタンダード または シュテムターン	緩～中斜面	運動特性に応じ、受検者がどちらかを選択して滑走する					
3級	パラレルターン ショート	緩斜面	状況に対応したリズム変化を伴う総合ターン	<ul style="list-style-type: none"> ・1種目最大100ポイント×2種目 ・120ポイント以上が合格（60%） 	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢制限は設けない 	1,500	1,000	
	パラレルターン ロング	緩斜面	状況に対応した安全なバランスのロングターン					
4級	クローズ＆ワイドスタンダード または シュテムターン	緩斜面	運動特性に応じ、受検者がどちらかを選択して滑走する	<ul style="list-style-type: none"> ・最大100ポイントとし55ポイント以上が合格 	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢制限は設けない 	1,500	900	
	ワイドスタンダード（リズム変化）	緩斜面	リズム変化を伴うワイドスタンダード					
5級	ワイドスタンダード	緩斜面	バランスを保持しながら連続して方向を変える	・最大100ポイントとし50ポイント以上が合格	・年齢制限は設けない	1,500	800	

※3・4・5級は検定員1名（アシスタント可） 判定テスト・講習内テストのどちらでも可とする